

協会ニュース

令和2年11月5日
中国地区品質経営協会
広島市西区横川町3丁目5番9号(世良ビル404号)
TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845
e-mail qmac@a1.mbn.or.jp URL <http://qmac.jp/>

令和2年度 第2回シンポジウム「モノづくりマネジメント 技術革新」

- ◆ 開催日時 : 令和 2年 10月 23日 (金) 13:20 ~ 17:00
- ◆ 場 所 : ウェブ配信セミナー (ウェビナー) 方式
- ◆ 参 加 者 : 28企業・団体 286名 (会場参加 28名、ウェブ参加 54会場・257名)

世界中で第4次産業革命とも呼ばれるデジタル技術が進展され、積極的にAI・IoTを導入する企業が増加しています。そこで今回はIoTをキーワードに、広島県のサポート状況とその改善事例、その分野で、技術革新して、世界の先進工場に選出された企業の取り組み事例として、3名の方をお招きしてご講演をいただきました。

また、今回は、ウェブ配信で参加しやすいこともあり、例年の2倍以上の285名の方にご参加いただきました。

講演第1部では、『テーマ名:広島県におけるスマートものづくりの取り組みについて』と題して、広島県 商工労働局 イノベーション推進チーム担当課長 長谷川 達也様から 広島県の地域企業へIoTの活用を実践・後押しする取り組みについて、そして広島県のサポートを受けながらIoTを実践して生産性向上を達成した改善事例として、『テーマ名:IT・IoTを使って生産性向上を目指す』と題して、広機工株式会社 管理課 生産管理 課長代理 上中田 巖様からご講演をいただきました。

AIによる人物姿勢、動作認識ソリューションを導入することで作業と品質の標準化に繋がられた事例など、どの企業も抱える課題の解決方法として大変参考になる講演でした。

講演第2部では、『テーマ名:高効率な生産を目指した、大みか事業所における多品種・少量生産での改革取組事例』と題して、株式会社日立製作所 制御プラットフォーム統括本部 大みか事業所 主任技師 佐々木 隆哲様に、現場の困りごとをIoTによって解決しながら技術革新され、超スマート社会の実現に向けて 多品種・少量で人手組立作業主体から設備による自動加工生産について、映像を交えて最先端にシステム化された大変興味深い内容のご講演をいただきました。

ご講演後は、中国地区品質経営協会 副運営委員長 児玉 照三 氏をコーディネーターとして迎えてパネルディスカッションが行われ、事前に会員企業・団体様から寄せられた多くの質問を基に、講演者にディスカッションしていただきました。

自らのご体験によって改善されてきたこだわりのポイントや工夫、たくさんの課題をどのようにやり遂げられたことなど、苦労しながら誠実にやってこられたことが伝わってきました。また、IoT導入といっても何から手を付けてよいかわからない企業にとって、導入の動機など大変参考になり、参加者の理解もより深まりました。

アンケート結果では「広島県のイノベーション立県実現を目指した取組みが理解できた」「RPA+OCR導入に向けて実際の取り組み成果が聞けて大変参考になった」「4M視点の元でデータ活用により生産現場の見える化に非常に刺激を受けた」や、パネルディスカッションで「目的が何かを理解した上で、IoTを活用することが大切ということが改めて実感した」などの感想が寄せられ、非常に有意義なシンポジウムとなりました。



株式会社日立製作所
佐々木 隆哲 氏



広機工株式会社
上中田 巖 氏



広島県 商工労働局
長谷川 達也 氏



パネルディスカッションの様子
(左からコーディネーターの 児玉氏、佐々木氏、上中田氏、長谷川氏)